

高齢者の学習機会提供の取組について

板橋区は、高齢者の教養の向上及び地域社会における活動の推進を図るとともに、地域住民相互の交流を支援することにより、区民の福祉の増進に寄与することを目的として、平成21年7月に「板橋区立シニア学習プラザ」を開設した。

また、平成6年7月に設立した板橋区高齢者大学校は、シニア学習プラザの開設とあわせ、平成21年度から名称を「板橋グリーンカレッジ」に改め、シニア世代の多様化・高度化する学習要求に応えるとともに、シニア世代の地域社会における活動を促進することを目的として、現在まで運営を続けている。

今回は、これらシニア学習プラザ（通称「グリーンカレッジホール」）を拠点とする本区における「高齢者の学習機会提供の取組」について報告する。

第1 板橋グリーンカレッジ

1 概要

(1) 組織

① 学長

板橋区長

② 事務局

長寿社会推進課シニア事業係

③ 板橋グリーンカレッジ運営協議会

[設置目的]

グリーンカレッジの効果的で円滑な運営を図るため、専門的知見や区民の視点を踏まえた協議を行うこと（年2回開催）

[協議事項]

カリキュラム、講師選定等グリーンカレッジの運営に関すること

[構成員（任期2年）]

➤ 区内大学関係者（3名）

☞ 大東文化大学教授、淑徳大学教授、東京家政大学准教授

➤ 学識経験者（1名）

☞ 東京都健康長寿医療センター研究員

➤ 板橋区文化財専門員（1名）

➤ 板橋グリーンカレッジOB会代表（1名）

➤ 公募区民（2名）

➤ 区職員（2名）

☞ 健康生きがい部長、教育委員会事務局生涯学習課長

(2) 受講対象者

① 大学校

区内在住・在勤で60歳以上の方（入学希望年度末現在）

② 大学院

グリーンカレッジ大学校を卒業した方（再入学可）

(3) 受講料

年間5,000円（各課程とも）

(4) その他

体系図 【別紙1】

講義一覧【別紙2】

2 受講者数等の推移

(1) 大学校

		27	28	29	30	令和元年度
新規入学	募集定員	300名	300名	300名	300名	300名
	応募者数	242名	256名	188名	238名	180名
	入学決定者数	235名	251名	188名	238名	180名
専門課程進級者数		243名	211名	215名	163名	185名
聴講生数		207名	214名	230名	287名	260名

(2) 大学院

		27	28	29	30	令和元年度
募集定員		90名	90名	90名	90名	90名
応募者数		75名	107名	91名	108名	84名
受講者数		66名	104名	72名	84名	76名

3 運営経費

平成30年度決算額

3,418,962円

(内訳)

報償費 2,815,000円（講師及び運営協議委員の謝礼金）

需用費 546,872円（講座用消耗品、卒業文集印刷等）

役務費 57,090円（卒業証書等の筆耕料、保険料）

<特定財源>

講座・講習会等参加者負担金 3,870,360円

(内訳)

受講料(グリーンカレッジ) 5,000円×743人=3,715,000円

受講料(区民企画による公開講座)

第1回 300円×127人= 38,100円

第2回 300円×172人= 51,600円

卒業記念写真代 1,000円×65人= 65,000円

フィールドワーク傷害保険料 30円×22人= 660円

4 近年の取組み(変化への対応)

高齢者も世代が交代し、グリーンカレッジ設立当初とはシニア世代の学びに対するニーズも変化していると考えられる。

こうした状況をとらえ、近年、グリーンカレッジの設立趣旨や区の政策方針(基本計画等)も踏まえたグリーンカレッジの見直しを進めてきている。

板橋グリーンカレッジ運営要綱

(目的)

第1条 この要綱は、シニア世代の多様化・高度化する学習要求に応えるとともに、シニア世代の地域社会における活動を促進するために設立する板橋グリーンカレッジの運営について、必要な事項を定めることを目的とする。

板橋区基本計画2025

基本目標Ⅱ いきいきかがやく元気なまち

基本政策Ⅱ-1 豊かな健康長寿社会

施策09 高齢者の社会参加の促進と生きがいづくり

【10年後の「あるべき姿」】

高齢者が豊富な知識や経験を活かしながら、元気に仕事をしたり、地域で活動したりしています。高齢者を活かすまちづくりによって、地域課題の解決や高齢者自身の健康増進を促進し、豊かさを実感できる社会が実現しています。

(1) アンケート調査によるニーズ把握

- 受講生アンケートを前期終了時点でも実施

(2) 周知・宣伝の強化

- ① 受講生募集案内の改訂 【別紙3】
 - 「しらべる」「役立てる」ことを最終目的としていることの示唆
 - アクティブラーニング(能動的な学び)の明記
 - 講師からのメッセージと卒業生の活動紹介の追加
- ② 講義概要(シラバス)の刷新 【別紙4】
 - 「講座のねらい」と「講義の効果」欄の新設
 - 実施回ごとの講義内容の記載(専門課程)
- ③ メディアを通じた宣伝
 - ジェイコムによるグリーンカレッジ特集の放映
 - 動画投稿サイト(Youtube)を活用した動画配信
- ④ 「グリーンカレッジだより」の作成・頒布 【別紙5】
 - 特徴的な講義の紹介や講座の雰囲気伝える媒体として発行(今後は、受講生や卒業生の編集ボランティアによる作成を検討)

(3) 講義形態の見直し

- ① アクティブラーニング
 - リアクションペーパーの活用(受講生の意見・要望、評価等)
 - 図書館等を活用した調査(調べ学習)
 - グループワーク
- ② 大学院でのフィールドワーク導入
 - グループごとに介護施設、介護予防事業等の実態把握(平成30年度健康福祉コース)
 - 旧中山道仲宿、加賀藩下屋敷の実地見聞と現地解説(平成30年度社会生活コース)

(4) 講義内容の見直し

- ① 地域活動やボランティアをテーマとする講座の実施
[平成30年度]
 - 「コミュニティをデザインする」(教養課程前期)
 - 「地域のつながりと健康づくり」(同)
 - 「長寿時代の情報戦!理想の生き方・老い方を考える～いくつになっても「学び」「働き」「遊び」そして「役立ちがい」～」(大学院健康福祉コース)

[令和元（平成 31）年度]

- 「コミュニティをデザインする～人と人をつなぐ新たな仕組み～」
（教養課程前期）
- 「「つながり」と健康格差」（同）
- 「東京 2020 大会を支える人たち－大会・都市ボランティアの様相－」（教養課程後期）
- 「つながりで健康づくりとボランティア活動」（専門課程社会生活
コース前期）

② 特別講座の実施

I 環境講座

[平成 30 年度]

テーマ：環境も人も豊かにする暮らしのかたち

講師：東京都市大学環境学部教授 古川 柳蔵

実施日：平成 30 年 12 月 11 日（火）

会場：エコポリスセンター

[令和元年度]

テーマ：海を取り巻く環境問題

講師：東京海洋大学名誉教授 石丸 隆

実施日：令和元年 9 月 5 日（木）

会場：エコポリスセンター

II 防災講座

[平成 30 年度]

テーマ：災害発生をより具体的にイメージし、みんなで減災を目指しましょう！

講師：公益財団法人市民防災研究所研究員 清水 眞知子

実施日：平成 30 年 11 月 20 日（火）

会場：成増アクトホール

[令和元年度]

テーマ：防犯・防災をテーマにした講座を予定

講師：公益財団法人市民防災研究所主任研究員
志村警察署防犯係

実施日：令和 2 年 1 月 16 日（木）実施予定

会場：シニア学習プラザ

③ 板橋ならではの独自性のある講座の実施

☞ 板橋区の歴史や地形のほか産業などの分野を想定

「いたばしの地下を探る－石器や土器にみる歴史－」（令和元年度
教養課程第 2 回）

(5) 卒業後の活動促進策

- ① 卒業生の活動実践状況の紹介（受講生募集案内、ジェイコム放映）
- ② OB会への入会勧奨
- ③ セカンドライフ情報誌「ステップ」の配布
- ④ シニア活動事業（ボランティア体験講座ほか）の案内
- ⑤ 卒業生が講師として行う「受講者プレゼンツ講座」の拡大
 - ☞ 小中学校、あいキッズ、老人ホーム、町会・自治会イベント、青少年健全育成事業等への出前講座など
- ⑥ シニア学習プラザ指定管理者の提案事業「夏休みグリーンカレッジ塾」
 - ☞ グリーンカレッジの講義がない夏休み期間を活用して、受講生が講師となり小中学生の宿題や自由研究の手伝いをする事業（令和元年度は、絵手紙や勾玉づくりなどを指導する世代間交流事業として実施）
- ⑦ 人材バンクの設立
 - ☞ 多種多様な経験やスキルを持つ、受講生・卒業生を募り、情報の登録を行う。登録情報の活用により、社会参加、地域活動の促進と活躍の場の拡大を図る。

5 区民企画による公開講座

板橋グリーンカレッジの事業として、区民企画による一般区民向け（概ね60歳以上の方が対象）の講座をシニア学習プラザを会場として、年2回開催している。

近年は、板橋グリーンカレッジOB会のメンバーと協議しながらテーマの設定や講師の選定を行っている。

<近年の実施状況>

年度	実施日	テ ー マ	講 師	受講者数
H29	11/1	国宝「曜変天目」鑑賞入門	静嘉堂文庫美術館 主任学芸員 長谷川祥子	130名
	1/29	シニアが主役の時代が到来！ ～楽しい老人クラブ活動を創る～	東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 木村 清一	117名
H30	9/3	板橋の地形と緑 ～土と水と緑と～	いた・エコ・ネット 事務局長 小林 良邦	127名
	3/15	元号の歴史	大東文化大学 文学部教授 宮瀧 交二	172名
R元	10/17	源氏物語はおもしろい	東洋大学 名誉教授 河内 修	147名
	1/10 (予定)	「今すぐ始める生前整理」	アールキューブ株式会社 あんしんネット	

6 OB会

(1) 沿革、組織等

板橋高齢者大学校創立（平成6年）から3年後の平成9年、板橋高齢者大学校卒業生有志によりOB会が結成され、平成29年に創設20周年を迎え、記念誌「歩み」を発行している。令和元年9月現在、板橋グリーンカレッジOB会の会員数は822名となっている。

OB会は会則を制定し、必要経費は会費だけを財源として自主運営がなされている。会員を代表する代議員（現在43名）が毎年5月に代議員総会を開き、当該年度の予算、事業計画及び役員人事の決定や決算報告、事業報告などを行っている。

正副会長、監事、事務局を置くほか、地域別の支部（第1支部～第3支部）を設置している。

(2) 活動内容

支部ごとに毎年、総会・懇親会が開催されるほか、都内及びその近郊の社会施設見学会が実施されている（年6回。3支部合同での見学会も年1回実施）。

このほか、写真・パソコン・太極拳・アウトドア等の趣味活動を行う専門部での各活動やハーモニカ同好会、能楽研究会、男が料理を創る会などのサークル活動が行われている。

また、区主催のグリーンカレッジ入学式・卒業式、区民企画公開講座において、OB会役員に受付業務等でのご協力をいただいている。

(3) その他

板橋グリーンカレッジOB会は、平成26年度内閣府社会参加活動事例の募集※に応募し、「社会参加章」の書状と記念の盾を授与されている（シニア学習プラザ3階に展示）。

平成27年6月、ノルウェー王国の政府関係者（保健・ケアサービス副大臣）が来日した際、板橋グリーンカレッジ事業やOB会の活動について視察している。

※ 内閣府では、エイジレス・ライフ（年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由に生き生きとした生活を送ること）を実践している高齢者の事例（「エイジレス・ライフ実践事例」）や、地域で社会参加活動を積極的に行っている高齢者のグループ等（「社会参加活動事例」）を毎年募集し、その中から内閣府として紹介する事例を選定し、ウェブサイトや主催行事等において広く紹介している。

[参考] 平成26年度 社会参加活動事例 応募96、選定55

第2 シニア学習プラザ

1 施設概要

- (1) 所在地 板橋区志村三丁目 32 番 6 号
- (2) 施設内訳 1～2階：志村ふれあい館
3～4階：シニア学習プラザ
(通称「グリーンカレッジホール」)
※ 災害時は災害ボランティアの宿泊場所として提供
- (3) 開設 平成 21 年 7 月
- (4) 建物概要 敷地面積 1,774.74 m²
延床面積 2,812.53 m² (駐輪場、倉庫等を含む)
構造 鉄筋コンクリート 4 階建
- (5) 配置 3 階 (648.00 m²)
☞ 教室 1、教室 2、教室 3、事務室、作業室、講師控室
4 階 (648.00 m²)
☞ ホール、集会室 1、集会室 2、配膳室
- (6) 開館時間 9 時 00 分～21 時 30 分
- (7) 休館日 年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)、施設点検日等

2 施設の貸出

シニア学習プラザは、下記の時間区分において施設の一般貸出 (有料) を行っている。

また、グリーンカレッジの講義のない時間区分において、教室 1 又は教室 2 を会場として指定管理者が企画する自主事業 (後記 3(4)) を実施している。

(1) 貸出区分

位置	教室設	土・日曜貸及び祝日	日	9:00～21:30間
	教室 2	月～金曜日 (祝日を除く)		17:30～21:30 ※1
	教室 3	水・木・金・土・日曜日及び祝日		9:00～21:30
		月・火曜日 (祝日を除く)		17:30～21:30 ※2
4 階	ホール 集会室	全日		9:00～21:30

※1 月～金曜日 9 時～17 時はグリーンカレッジの講義等で使用

※2 月・火曜日 9 時～17 時はグリーンカレッジ受講生・卒業生の自主研究の場として使用

(2) 利用対象

利用登録した団体 (構成員 2 名以上) は、区内外を問わず同一使用料で事前に予約 (利用当日も可) のうえ利用できる。

区内団体の場合は、予約受付の開始日が区外団体より一週間早い優先措置をとっている。

(3) 使用料

施設	午前 (9時～正午)	午後(13時～17時)	夜間 (17時30～21時30分)
教室1※	4,600円	6,100円	6,100円
教室2※	1,900円	2,400円	2,400円
教室3	1,400円	1,800円	1,800円
ホール※	6,500円	8,400円	8,400円
集会室1	950円	1,200円	1,200円
集会室2	950円	1,200円	1,200円

※ 教室1、教室2、ホールは2分割して利用することができる。この場合の使用料は、この表に規定する額の5割相当額

3 施設運営

シニア学習プラザは開設当初から指定管理者による運営を行っている。

(1) 指定管理者

アクティオ・アリオス共同事業体

構成団体：アクティオ株式会社、株式会社アリオス

(2) 指定期間

平成31年4月1日～令和6年3月31日

(3) 指定管理者の行う業務

- 高齢者の学習に関する事業
- 高齢者の社会参加を促進する事業
- 施設の利用公開
- 貸出施設の利用承認に関する業務
- 板橋区長の承認を得て利用時間・休館日を変更し、臨時休館日を定めること
- 施設・設備の維持管理に関する業務

(4) 自主事業

区内在住・在勤の概ね50歳以上の方を対象に文化芸術、語学、健康等に関する講座やダンス教室、ミニコンサートなどの自主事業を実施している。

- 水墨画教室、鉛筆画教室、ペン習字教室
- ハーバリウム（植物標本）体験教室
- デジカメ教室
- ウクレレ教室、大正琴体験教室
- 中国語教室、英語教室、韓国語教室
- 健康に関する講座（がん、認知症、生活習慣病等のテーマ）
- 卓球教室、ダンス教室、フラダンス教室
- ジャズコンサート、ラテンライブ など

4 運営経費

平成 30 年度決算額

支 出 47,720,509 円

(内訳)

人件費	25,136,167 円
施設維持管理費	9,647,898 円
事業運営費	3,929,800 円
事務費	3,634,801 円
指定管理者利益・本社経費	5,371,843 円

収 入 47,720,509 円

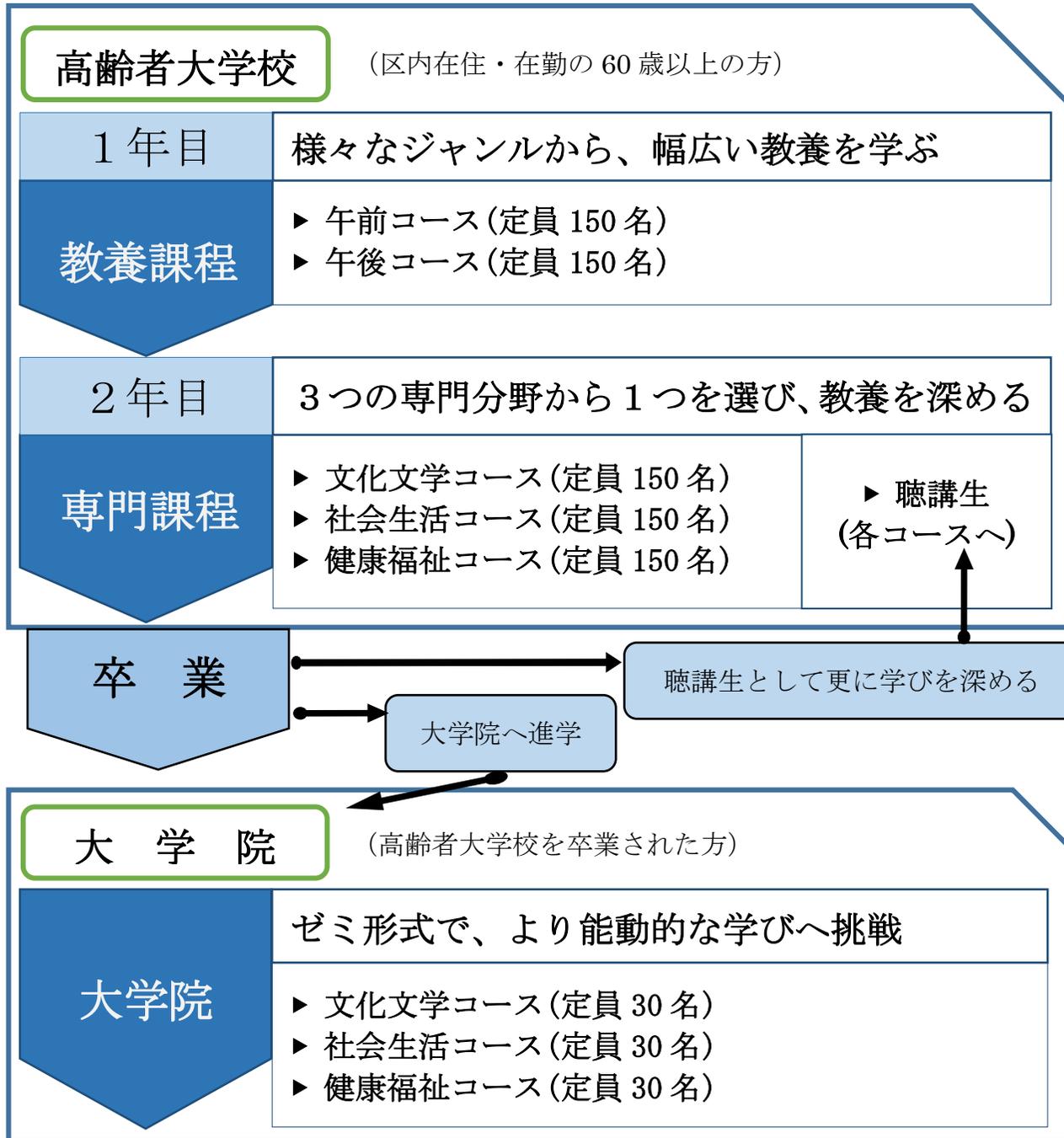
(内訳)

区委託料	33,307,945 円
利用料金等	14,412,564 円

5 スタッフ (10 名)

館長	1 名 (常勤)
副館長 (事業担当)	1 名 (常勤)
副館長 (経理担当)	1 名 (常勤)
職員	1 名 (常勤)
受付スタッフ	2 名 (常勤)
受付スタッフ	4 名 (非常勤)

《板橋グリーンカレッジ体系図》



【高齢者大学校 (教養課程)】

- ・ 専門課程履修の前提となる基礎的知識について、幅広いジャンルから学びます。(日本文学、英米文学、法律、経済、歴史、社会、自然科学、天文学、美術、健康づくり、地域コミュニティ等。)
- ・ 1回2時間の講義を年間18回開催します。
- ・ 各講義は、原則1回完結で行われます。
- ・ 午前または午後コース(いずれも同じ内容)のどちらかご都合のよいコースを選択します。

【高齢者大学校 (専門課程)】

- ・ 教養課程を履修した方が、より専門的な知識の習得を図るために、専門分野を選択し履修します。
- ・ 1回2時間の講義を年間18回開催します。
- ・ 各コースとも1つのテーマについて2～4回連続で講義を行うため、より深い内容を学ぶことができます。
- ▶ 文化文学コース: 様々な文化や文学について理解を深め、自己の教養向上をめざします。
- ▶ 社会生活コース: 社会の様々な課題に目を向け、多角的な理解をめざします。
- ▶ 健康福祉コース: 健康で自立した生活を送るために必要な知識の習得をめざします。

【大学院】

- ・ 1年制(13回)のゼミ形式の講座です。
- ・ 前半は、後期で実施するグループ学習を進める上で前提となる導入講義を行い、後半は少人数のグループに分かれてテーマごとの研究を進めます。最終回にはグループごとに研究発表を行い、学びの成果を報告します。
- ・ 卒業研究レポート集を作成し、1年間の学びを集大成します。

令和元年度板橋グリーンカレッジ講義一覧

課程	回	実施日	曜日	時間帯	テーマ	講師肩書(講座実施当時)	講師氏名
教養課程	1	4.19	金	10:00～12:00 14:00～16:00	コミュニティをデザインする ～人と人をつなぐ新たな仕組み～	跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授	鍵屋 一
	2	5.17			いたばしの地下を探る—石器や土器にみる歴史—	板橋区立郷土資料館 学芸員	中村 新之介
	3	5.31			認知症は生活習慣病？	イムス板橋リハビリテーション病院 院長	渋谷 正直
						同リハビリテーション科 副主任 作業療法士	伊賀 博紀
	4	6.7			映画で学ぶシェイクスピア	文京学院大学外国語学部教授	桑子 順子
	5	6.14			認知症にならない為に。それには感動することを忘れない。	NPO法人日本万華鏡セラピー研究会長	島崎 勝信
	6	7.5			経済の目を養う—地球文明の危機と人生の幸福—	東洋大学名誉教授	八巻 節夫
	7	7.19			「つながり」と健康格差	東京大学高齢社会総合研究機構・特任講師	村山 洋史
	8	7.26			「偉大な質問」としての寺山修司	東京大学特任助教	堀江 秀史
	9	9.13			東京2020大会を支える人たち—大会・都市ボランティアの様相—	文京大学人間科学部准教授	二宮 雅也
	10	9.27			いろいろ食べて健康長寿	東京都健康長寿医療センター研究所研究員	横山友里
	11	10.4			生命と地球の共進化 —過去から未来を推定する—	駿河台大学メディア情報学部教授	野村 正弘
	12	11.1			大人のためのイギリス児童文学～ピーターラビットを中心に～	大東文化大学文学部教授	河野 芳英
	13	11.8			(仮)ファッション史に生きた女性たち	東京家政大学名誉教授	能澤 慧子
	14	12.6			天文学のすすめ～星空を見上げてみませんか～	教育科学館科学指導員	—
	15	12.13			(仮)渋沢栄一について	渋沢栄一史料館副館長	桑原 功一
	16	12.20			(仮)長寿を楽しむ—百寿者の世界	東京都健康長寿医療センター研究所研究員	増井 幸恵
	17	1.24			やさしい日本の政治・行政・政策入門	尚美学園大学総合政策学部教授	安 章浩
18	1.31						

令和元年度板橋グリーンカレッジ講義一覧

課程	回	実施日	曜日	時間帯	テーマ	講師肩書(講座実施当時)	講師氏名
専門課程 文化文学 コース	1～4	4.24～ 5.29	水	10:00～12:00	図説:教養としてのギリシア神話	文京学院大学生涯学習センター講師	五條 吉和
	5～8	6.12～ 7.24			現代に生きる徒然草	古典文学研究家	山田 喜美子
	9～12	9.4～ 10.16			”一目瞭然”「見て」学ぶ歴史	大東文化大学文学部教授	宮瀧 交二
	13～ 14	12.4・ 12.11			日本の仏教美術、その造形について	山梨県立博物館長・筑波大学名誉教授	守屋 正彦
	15～ 16	1.22・1.29			ハリウッドの夢と現実～1930年代から40年代の名作を中心に～	早稲田大学・法政大学兼任講師、英米演劇・映画研究者	広川 治
	17～ 18	2.12・2.19			日本人とスポーツ	東洋大学法学部教授	谷釜 尋徳
専門課程 社会生活 コース	1～2	4.22・5.13	月	14:00～16:00	つながりで健康づくりとボランティア活動	東京都健康長寿医療センター研究所研究員	倉岡 正高
	3～5	6.10～ 6.24			水・土砂災害の歴史を踏まえた暮らしのあり方	首都大学東京都市環境学部教授	横山 勝英
	6～8	7.1～7.22			経済学らしくない経済学を学ぼう	慶應義塾大学商学部教授	中島 隆信
	9～10	9.2・9.20			オリンピックって何だろう？	東洋大学法学部教授	谷釜 尋徳
	11～ 13	11.11～ 11.25			法を知って自分を守ろう！	東洋大学法学部法律学科教授・弁護士	早川 和宏
	14～ 15	12.2・12.9			人と人のつながりの驚くべき幸福力	東洋大学名誉教授	八巻 節夫
専門課程 健康福祉 コース	1～4	4.23～ 5.28	火	14:00～16:00	長寿社会を生き生き楽しく —いつまでも学び・遊び・働きそして“役立ちがい”のすすめ—	東京大学高齢社会総合研究機構客員研究員	木村 清一
	5～6	6.11・6.18			食べ物の安全性を考えよう	東京家政大学教授	森田 幸雄
	7～8	7.9・7.23			認知症と、認知症と生きる人、認知症と生きる社会	東京女子医科大学附属 成人医学センター神経内科医師	松村 美由起
	9～11	9.24～ 10.15			人生100年時代の「健幸」デザイン	NPO法人健幸とまちづくり研究所理事長	藪田 碩哉
	12～ 13	11.5・ 11.12			健康のシグナルは足裏と姿勢・歩行に有り	東京家政大学名誉教授	森尻 強
	14～ 15	11.19・ 12.3			上手に食べて元気にいきいき	管理栄養士	菊地 淳子
	16～ 18	1.7～1.21			どうなっている私たちの年金・医療・介護保険	社会保険労務士・産業能率大学総合研究所兼任講師	奥村 禮司
大学院 文化文学 コース	1～13	4.18～ 1.23	木	10:00～12:00	好一對の作家たち～明治・大正の文人たちの意外なエピソードから	東海大学文化社会学部教授	堀 啓子
大学院 社会生活 コース	1～13	4.16～ 1.21	火	10:00～12:00	世界の平和と安全を考える—「持続可能な発展目標」を踏まえて	大東文化大学経済学部教授	内藤 二郎
大学院 健康福祉 コース	1～13	4.24～ 1.22	水	14:00～16:00	生き甲斐のある人生の生活の質(QOL)を高める食養生	日本成人病予防協会認定講師	松島 勇次

板橋区

いくつ
何歳になっても学びは楽しい!

板橋グリーンカレッジ (高齢者大学校)

平成 30 年度

受講生募集



講義風景



会場: グリーンカレッジホール(板橋区志村 3-32-6)

受講期間:平成 30 年4月から平成 32 年3月まで(2年間)

履修回数:年 18 回

講義時間:1回2時間、午前コース ;10 時から 12 時まで、
午後コース;14 時から 16 時まで

※ 2年目は選択コースにより時間が変わります。

実施場所:グリーンカレッジホール(板橋区志村 3-32-6)

※ 都営三田線「志村三丁目」駅下車徒歩5分

募集人数:午前コース 150 名、午後コース 150 名

※ 定員を超えた場合は抽選

申込資格:区内在住・在勤の 60 歳以上の方

受講料:年 5,000 円(初回講義時に現金でのお支払い)

申込方法:往復はがきに必要事項を記入のうえ、郵送

◎ 住所・郵便番号 ◎ 氏名(ふりがな) ◎ 生年月日 ◎ 電話・FAX 番号 ◎ 希望コース(午前・午後)

申込期間:平成 30 年 1 月 15 日から2月 16 日まで(必着)

受講決定:3月中旬までに結果をご通知いたします。

その他:平成 30 年4月6日(金)14 時から成増アクトホールで入学式を行う予定です。

平成 30 年度

板橋グリーンカレッジの特長

☞ アクティブラーニングが導入されます!

☞ 「板橋ならではの」学びがあります!

お問合せ・お申込

板橋区健康生きがい部長寿社会推進課シニア活動支援係 〒173-8501 板橋区板橋 2-66-1 電話:3579-2372

平成 30 年度 板橋グリーンカレッジ（前期）講義概要（一部抜粋）

実施日・講師	テーマ・講義内容
（第1回）4月19日 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授 鍵屋 一	コミュニティをデザインする ～人と人をつなぐ新たな仕組み～ 人間関係にまつわる課題を、うまく解決する心地よいコミュニティとは？
（第2回）5月10日 （第3回）5月17日 東海大学文化社会学部教授 堀 啓子	文豪たちの過ごした明治の日常（1） 尾崎紅葉という作家の人生を通して、明治という時代を身近に感じてみましょう。
	文豪たちの過ごした明治の日常（2） 夏目漱石の名作を読み、作家の人間性や背景を読み取っていきましょう。
（第4回）5月31日 東京都健康長寿医療センター研究所研究員 倉岡 正高	地域のつながりと健康づくり 健康づくりには、自身の努力だけでなく、人とのつながりや多世代の支え合いが重要です。
（第5回）6月7日 大東文化大学法学部教授 加藤 普章	アメリカにおける銃規制をめぐる諸問題 銃が引き起こす問題の実態、それを取り巻く規制や政策、米国世論について紹介します。
（第6回）6月28日 駿河台大学メディア情報学部教授 野村 正弘	生命と地球の共進化 ―過去から未来を推定する― 地球の変動と、生命の進化との関係とは？最新の地球変動のシステムを解説します。
（第7回）7月12日 民俗学者 旅の文化研究所所長 神崎 宣武	夏の土用になぜ鰻？ ―季節の循環の 忌みと祝い― 季節のうつろいに対するの処し方も日本文化のひとつ。改めて「土用」の意味を考えましょう。
（第8回）7月26日 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授 老川 慶喜	新河岸川舟運と東武東上線 東武東上線の歴史を辿りながら、鉄道や河川舟運と沿線住民の生活との関係を紐解きます。

これからお申込みをされる方へ 担当講師からのメッセージ

ハーバード大学は、724人の男性を20歳から75年間、健康、仕事、生活状況などについて追跡調査を続けました。その結果、人を健康で幸福にするのは、「良い人間関係」に尽きるそうです。グリーンカレッジで新たな仲間との学びを通じて、良い人間関係を築き、健康と幸福を手に入れましょう。（跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授 鍵屋 一）



地域で、社会で、活躍するグリーンカレッジ卒業生をご紹介します。

受講者プレゼンツ講座で 講師として登壇！



板橋グリーンカレッジで学んだことをきっかけに、様々な講座を企画し、講師を務めています。何歳になっても、新しいことにチャレンジしていきたいと思えます。

観光ボランティアとして 板橋をPR！



観光ボランティア「もてなしたい」として区内外のお客様へ板橋の魅力を伝えています。グリーンカレッジの仲間も沢山おり、板橋大好き人間の集まりです。

板橋グリーンカレッジ OB会で仲間づくり！



平成25年卒業後OB会に加入し、現在写真部に所属しています。この4年間、良い仲間恵まれ、趣味の写真を撮り続けています。

板橋グリーンカレッジへのご応募をお待ちしております。

板橋グリーンカレッジ(高齢者大学校)

平成31年度

受講生募集

—まだまだ
「シルバー」なんて
言わせない。

「グリーン」カレッジで
彩豊かな人生を—

受講者募集

受講期間: 2019年4月から2021年3月まで(2年間)
実施場所: グリーンカレッジホール(板橋区志村3-32-6)
都営三田線「志村三丁目」駅下車徒歩5分
申込資格: 区内在住・在勤の60歳以上の方
※詳細は、2019年1月12日号の広報いたばし及び区HP
をご覧ください。

お問合せ 板橋区健康生きがい部長寿社会推進課シニア事業係 〒173-8501板橋区板橋2-66-1 電話: 3579-2372

板橋区

募集期間

1/15(火) → 2/15(金) ※必着

板橋グリーンカレッジとは

板橋グリーンカレッジは、シニア世代の多様化・高度化する学習要求に応えるとともに、地域での活動を支援します。講座は、アクティブラーニングが導入されています。

これからお申込みをされる方へ
担当講師からのメッセージ

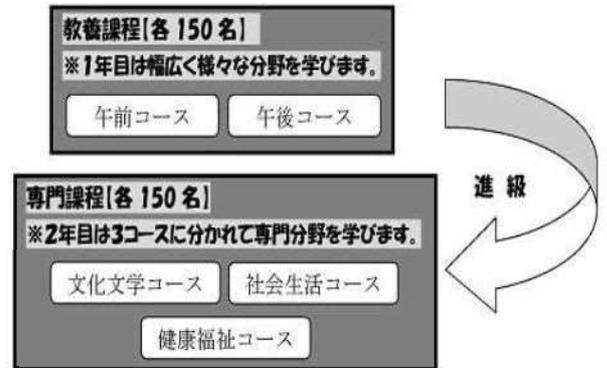
人を健康で幸福にするのは、「良い人間関係」に尽きるそうです。グリーンカレッジで新たな仲間との学びを通じて、良い人間関係を築き、健康と幸福を手に入れましょう。



教養課程講師
鍵屋 一



板橋グリーンカレッジ体系図



※卒業後は、1年制の大学院や、専門課程受講生と同じ講義を聞くことができる、聴講制度などがあります。

受講生募集（教養課程）

教養課程では、仲間づくりや地域活動、生涯学習を促進する多様なテーマについて学びます。午前・午後どちらかのコースを選択していただき、裏表紙の応募要領をご覧ください。往復はがきにてお申し込みください。



平成 31 年度 板橋グリーンカレッジ 教養課程（前期）

回	日付	講師	テーマ
1	4月19日	跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 教授 鍵屋 一	コミュニティをデザインする ～人と人をつなぐ新たな仕組み～
2	5月17日	板橋区立郷土資料館 学芸員 中村 新之介	いたばしの地下を探る －石器や土器にみる歴史－
3	5月31日	イムス板橋リハビリテーション病院 院長 渋谷 正直／作業療法士 伊賀 博紀	認知症は生活習慣病？
4	6月7日	文京学院大学外国語学部教授 桑子 順子	映画で学ぶシェイクスピア
5	6月14日	NPO 法人日本万華鏡セラピー研究会会長 島崎 勝信	認知症にならない為に。 それには感動することを忘れない。
6	7月5日	東洋大学名誉教授 八巻 節夫	経済の目を養う －地球文明の危機と人生の幸福－
7	7月19日	東京大学高齢社会総合研究機構・特任講師 村山 洋史	「つながり」と健康格差
8	7月26日	東京大学特任助教 堀江 秀史	「偉大な質問」としての寺山修司

講義時間 <午前：10時～12時> <午後：14時～16時> ※原則：金曜日

聴講生募集

聴講生は、専門課程を卒業した方で、継続学習を希望する方が専門課程の講義を受講できます。以下のコースから第二希望まで選択していただき、裏表紙の応募要領をご覧ください。往復はがきにてお申し込みください。

平成31年度 板橋グリーンカレッジ 専門課程（前期）

コース	回	日付	講師	テーマ
文化文学 (水曜・午前)	1～4	4月24日・5月8日・ 5月22日・5月29日	文京学院大学生涯学習センター 講師 五條 吉和	図説；教養としてのギリシア神話
	5～8	6月12日・6月26日・ 7月10日・7月24日	古典文学研究家 山田 喜美子	現代に生きる徒然草
社会生活 (月曜・午後)	1～2	4月22日・5月13日	東京都健康長寿医療センター研究所 研究員 倉岡 正高	つながりで健康づくりとボランティア活動
	3～5	6月10日・6月17日・ 6月24日	首都大学東京都市環境学部 教授 横山 勝英	水・土砂災害の歴史を踏まえた暮らしのあり方
	6～8	7月1日・7月8日・ 7月22日	慶應義塾大学商学部教授 中島 隆信	経済学らしくない経済学を学ぼう
健康福祉 (火曜・午後)	1～4	4月23日・5月7日・ 5月21日・5月28日	東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 木村 清一	長寿社会を生き生き楽しく
	5～6	6月11日・6月18日	東京家政大学教授 森田 幸雄	食べ物の安全性を考えよう
	7～8	7月9日・7月23日	東京女子医科大学附属 成人医学センター神経内科医師 松村 美由起	認知症と、認知症と生きる人、認知症と生きる社会

講義時間 <午前：10時～12時> <午後：14時～16時>

受講生募集（大学院）

大学院とは、講義とグループでの調査研究を行い、研究発表をします。また、レポート集を作成します。以下のコースから第二希望まで選択していただき、裏表紙の応募要領をご覧ください。往復はがきにてお申し込みください。

平成31年度 板橋グリーンカレッジ 大学院（年間）

コース	日付（全13回）	講師	テーマ
文化文学	4/18・5/9・5/23・6/6・6/20・ 7/4・7/18・9/26・10/10・11/7 ・12/5・1/9・1/23 ※木曜、午前	東海大学文化社会学部教授 堀 啓子	好一對の作家たち ～明治・大正の文人たちの意外な エピソードから
社会生活	4/16・5/14・5/28・6/11・6/25 ・7/2・7/16・9/10・10/8・ 11/12・12/3・1/7・1/21 ※火曜、午前	大東文化大学経済学部教授 内藤 二郎	世界の平和と安全を考える —「持続可能な発展目標」を踏まえて ※別途テキスト代1,000円（税別）がかかります。
健康福祉	4/24・5/8・5/22・6/5・6/19・ 7/3・7/17・9/18・10/9・11/6・ 12/4・1/8・1/22 ※水曜、午後	日本成人病予防協会認定講師 松島 勇次	生き甲斐のある人生の生活の質 (QOL) を高める食養生

講義時間 <午前：10時～12時> <午後：14時～16時>

応募要領

【教養課程】

受講期間:平成 31 年4月から平成 33 年3月まで(2年間)

履修回数:年 18 回 ※ 後期日程は7月中にお知らせします。

募集人数:午前コース 150 名、午後コース 150 名 ※ 定員を超えた場合は抽選

申込資格:区内在住・在勤の 60 歳以上の方

受講料:年 5,000 円

受講決定:3月中旬までに結果をご通知いたします。

その他:平成 31 年4月9日(火)14 時から成増アクトホールで入学式を行う予定です。

【専門課程・聴講生】

受講期間:平成 31 年4月から平成 32 年3月まで(1年間)

履修回数:年 18 回 ※ 後期日程は7月中にお知らせします。

募集人数:各コース 150 名 ※ 平成 30 年度に教養課程を修了予定の方を優先、定員を超えた場合は抽選

申込資格:区内在住・在勤の 60 歳以上の方でグリーンカレッジを卒業された方

受講料:年 5,000 円

受講決定:3月中旬までに結果をご通知いたします。

【大学院】

受講期間:平成 31 年4月から平成 32 年3月まで(1年間)

履修回数:年 13 回

募集人数:各コース 30 名 ※ 定員を超えた場合は抽選

申込資格:区内在住・在勤の 60 歳以上の方でグリーンカレッジを卒業された方

受講料:年 5,000 円

受講決定:3月中旬までに結果をご通知いたします。

その他:平成 31 年4月9日(火)14 時から成増アクトホールで入学式を行う予定です。

<往復はがき記入方法>

ご自身のお名前・ご住所をお書きください。

※往信・返信に切手(62円)をお貼りください。

(往信用) 表

切手
62円

(往信)

〒173-8501
板橋区長寿社会推進課
シニア事業係 宛て

(往信用)

- ① 板橋グリーンカレッジ申込み
(受講生・聴講生・大学院)
- ② 希望コースを明記
- ③ 郵便番号、住所
- ④ 氏名(ふりがな)
- ⑤ 年齢、生年月日
- ⑥ 電話、FAX番号

(返信用)

切手
62円

(返信)

〒●●●●-●●●●
板橋区△△丁目××番□□号
○○ ○○ 様